

先端科学技術研究科 修士論文要旨

| | | | |
|---|---------------------------------|-----|--------------|
| 所属研究室 (主指導教員) | サイバネティクス・リアリティ工学 (清川 清 (教授)) | | |
| 学籍番号 | 2211248 | 提出日 | 令和 6年 1月 18日 |
| 学生氏名 | 東山 暉 | | |
| 論文題目 | 座位者の座面に対する温度刺激が重心に与える影響 | | |
| 要旨 | | | |
| <p>本研究は、現代の職場環境で増加している長時間のVDT (Visual Display Terminal) 作業と、それに伴う座位姿勢の悪化や不動状態の問題に着目しています。従来の研究では、物理的デバイスや情報提示手法による姿勢改善の試みがなされてきましたが、これらには実用性に欠けるという課題があります。そこで本研究では、座位姿勢の改善を図るために座面に対する温度刺激が重心変化と知覚に影響を及ぼすかを実験します。非侵襲的かつ直接的な温度刺激により座位状態での被験者の知覚及び重心変化を調査し、長時間のVDT作業による姿勢悪化を防止する新しい手法の可能性を調査することが目的です。</p> | | | |